

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育施設課長 井手久武	電話番号	0852-22-5909
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	普通高校等情報教育機器整備事業		
目的	(1) 対象	県立学校の児童・生徒	
	(2) 意図	情報化に対応した学校教育を受けられるようにする。	
事業概要	県立高校及び特別支援学校の児童・生徒が適切に情報教育を受けるために必要なコンピュータ機器やネットワークを整備する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 教育用コンピュータの更新率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 更新実績数÷更新対象台数	実績値	100.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	92,453	95,731
うち一般財源(千円)	92,453	95,731

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

教育用コンピュータ機器やネットワークについて、更新計画に基づき更新している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

教育用コンピュータ機器やネットワークの更新を計画的に行うことにより、学校での情報教育を円滑に進めることができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

国の第2期教育振興基本計画等においては、情報教育以外の授業でもICTを活用した教育の推進による新たな学びの実現を求めており、これに対応するためには教育環境の整備について検討が必要。

②困っている状況が発生している「原因」

新たな学びの実現のためには、協働型や双方向型などの多様な教育環境が求められている。

③原因を解消するための「課題」

現状の情報機器では、ICT機器の普通教室利用などの新たな教育環境に対応できない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

従来の機器を計画的に更新していく一方で、ICTを活用した教育のあり方に必要となる機器や周辺環境について、関係課と連携して検討していく。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）